

# 新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大予防ガイドライン

2021年8月20日

安曇野リバープレイヤーズクラブ

## 【基本方針】

選手・役員及び来場者の生命・健康の安全を最優先に細心の注意をはらい、安全に競技運営ができるようにする。

## 【対策】

### 1 大会開催に当たっての基本的な考え方

開催の判断は、長野県及び安曇野市と相談を行ない、大会を開催するに当たっては以下の条件による。

- ① 行政の指示に従う
- ② 参加者が所属する都道府県が長野県への移動を認めている
- ③ 大会に関わる参加者(選手・役員・関係者)が「新しい生活様式」に従って感染対策を実践している
- ④ 会場での十分な感染防止対策を実行できる

### 2 大会開催の判断基準

#### (1) 長野県が特定警戒都道府県に指定されたとき

都道府県知事からの自粛要請等に基づき、感染リスクへの対応が整わない場合は中止する。

#### (2) 長野県が特定警戒都道府県以外の特定都道府県に指定されたとき

感染リスクへの対応が整わない場合は中止する。

長野県知事によるイベントの開催制限が解除される場合は、適切な感染防止策を講じた上で実施することが可能となる。

#### (3) 緊急事態措置の対象とならないとき

「新しい生活様式」の定着や適切な感染防止策を講じることを前提に、長野県知事より段階的に規模要件が緩和することとなるため、長野県及び安曇野市のスポーツイベントを含む催事の開催に係る方針に従い、実施の可否を判断する。

### 3 大会を開催するうえでの感染防止策

#### 大会本部が運営に当たり留意すべき事項

##### (1) 事前対応

- ① 感染防止のために安曇野リバープレイヤーズクラブが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化し、適切な場所に掲示する
- ② 安曇野市及び関係機関と連携し、情報の共有に努め、連絡体制の整備を行う
  - ・ 最新情報や留意事項を確認し、その状況に応じて遅滞なく対応する
  - ・ 救急体制の整備や緊急時の確認を怠らないようにする
  - ・ 大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、安曇野市地域において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、県及び市の衛生部局とあらかじめ検討しておく
- ③ 参加者と大会の事前・当日・事後に連絡をとれる環境を整えておく
  - ・ 参加者の宿泊先、連絡先を把握して対応に備える
  - ・ 参加者に対し、感染防止のために遵守すべき事項を明確にして、事前に連絡し協力を求める
  - ・ 参加者への連絡事項を運営スタッフ、関係者にも同様に事前伝達する
- ④ 会場における感染防止対策をとった設営・設置の準備をする
  - ・ 競技会場の点検(人の動線、衛生管理)を行う
  - ・ 感染予防のための備品、消耗品等を開催地で確保・準備する
- ⑤ 障がい者や高齢者などに配慮した環境を整備する
- ⑥ 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する

## (2) 参加募集時

感染拡大防止のために、参加者には以下の事項について協力を願う

- ① 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる
  - ・体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参する  
スポーツを行っていないときはマスクを着用する
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- ④ 参加者は当日、健康チェックシートを提出する
- ⑤ 受付場所での現金授受等を避ける
- ⑥ 他者との距離を確保する  
できるだけ 2 m を目安とする（最低 1 m） ※障がい者の誘導や介助を行う場合を除く
- ⑦ ハグや握手をしない
- ⑧ テント等における密を避けるための工夫をする
- ⑨ 大きな声での会話、応援等をしない
- ⑩ 感染防止のために大会本部が決めたその他の措置の遵守、指示に従う
- ⑪ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、安曇野リバープレイヤーズクラブへ速やかに濃厚接触者の有無等について報告する

## (3) 当日の参加受付時の対応・留意事項

- ① 受付場所には、手指消毒剤を設置する
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しない
- ③ 人と人が対面する場所は、できる限りアクリル板などで遮蔽する
- ④ マスクを着用する
- ⑤ 受付場所での現金授受等を避ける
- ⑥ 混雑を避けるために、受付時間の拡大や、距離をおいて並べるように目印の設置等を行う  
できるだけ 2 m を目安に（最低 1 m）
- ⑦ 参加者から健康チェックシートの提出を求める

## (4) 参加者への対応

- ① **体調確認**  
開催当日、参加者に健康チェックシートの提出を求める
- ② **マスク等の準備**  
競技中を除きマスクを着用する
- ③ 熱中症のリスクが高くなるおそれがあるときは、人と十分な距離（2m 以上）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、適宜マスクを外すことができる

## (5) 来場者の対応

- ・体調の悪い人は来場を控える（健康チェックシートの内容確認）
- ・来場する際はマスクを着用する
- ・観客同士が密な状態にならないようにする  
それぞれが 2 m 以上の間隔をとる ※障がい者の誘導や介助を行う場合を除く
- ・ハグや握手をしない
- ・大声での会話や連呼による応援はしない
- ・応援は拍手等により感染症対策を考慮して行う
- ・熱中症対策をとる
- ・各自のゴミは密閉して持ち帰る
- ・安全管理ための注意に応じない場合は、会場から退場してもらう
- ・会場各所にアルコール等消毒剤を設置する
- ・事前に通達した内容を場内アナウンス等随時行い注意喚起する
- ・注意しても改善されない場合は、会場から退場してもらう

## (6) ゴミの廃棄

- ① 会場内のゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は必ず石鹸と流水で手洗い、手指消毒をする

- ② 各自のゴミは密閉して持ち帰る

## (7)大会における感染防止対策

### ① 検艇

- ・人と人が対面する場所は、できる限りアクリル板などで遮蔽する
- ・マスクを着用する
- ・混雑を避けるために、距離をおいて並べるように目印の設置等を行う  
できるだけ2mを目安に(最低1m)

### ② 乗降艇

- ・乗降艇の混雑を避けるため、棧橋(乗降台)へ立ち入る人数を制限する
- ・艇は選手自身が運ぶこと(障がい者の補助を行う場合は除く)
- ・乗降艇後は速やかに棧橋(乗降台)から離れる事を指示する

### ③ 審判員

- ・マスク着用を基本とするが、業務上難しい場合は、位置取りに注意して対面で会話をしないようにする
- ・審判で使用した用具等は消毒をする

### ④ 組み合わせ・結果等

- ・掲示場所での混雑を避けるための工夫をする  
(掲示場所を分散する、チーム毎に配付ケースを準備する、掲示板での発表をせずインターネットなどの活用を図る等)

### ⑤ 式典

- ・開会式、閉会式、表彰式は、必要最小限の参加にとどめ実施する

## (8)会場における感染防止対策

### ① 手洗い場所・洗面所(トイレ)

- ・トイレの複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー、仮設トイレ内のバー等)については、こまめに消毒する
- ・トイレの蓋を(ある場合は)閉めて汚物を流すよう表示する
- ・手洗い場所には石けん(ポンプ型が望ましい)を用意する
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
- ・参加者にマイタオルの持参を求める
- ・アルコール等の手指消毒剤を会場入口や、関係各所に設置する

### ② 飲食物の提供時

飲食物の提供は、以下の安全対策に十分配慮した上で行う

- ・マスクを着用する
- ・参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声をかける
- ・スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶などで、未開封の飲料を提供する
- ・果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど工夫を行う

## (9)参加者が遵守すべき事項

### ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

- ・体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

### ② 当日、健康チェックシートを提出する

### ③ マスクを着用する

### ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する

### ⑤ 艇、用具等はできるだけ使用者を固定する。複数の人が使用する場合、用具等は使用後にアルコール等消毒剤で拭き取る

- ⑥ 他者との距離を確保する(できるだけ2mを目安に(最低1m)) ※障がい者の誘導や介助を行う

場合を除く

- ⑦ チームの待機場所(テント等)における密を避けるための工夫をする
- ⑧ 大声での会話や連呼による応援はしない
- ⑨ 応援は拍手等により感染症対策を考慮して行う
- ⑩ ゴミは密閉して、各自で持ち帰る
- ⑪ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- ⑫ 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する
- ⑬ 移動時における感染防止対策を十分にとる

#### (10)参加前後の留意事項

- ① 来場する以前から健康管理に努め、各自対策を講じておく
- ② 移動時における感染対策を十分に行う
- ③ 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する
- ④ 食事においても三つの密を避ける
- ⑤ 大会後や会場から帰宅してからも、十分な消毒はじめ対策を各自が行い、健康管理に努める

#### (11)参加者が競技を行う際の留意点

- ① **十分な距離の確保**  
競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること(2m以上) ※介助者や誘導者の必要な場合を除く。
- ② **位置取り**  
陸上でウォーミングアップやクールダウン等はできるだけ集団でなく個別に行い、混雑を避けた場所で行うようにする  
水上でウォーミングアップやクールダウン等をする際は、近距離での並漕を避け、艇間の距離を空ける
- ③ **使用用具の消毒等**  
複数人が使用する用具等は、各使用後に消毒する
- ④ **その他の留意事項**
  - ・ 唾や痰をはくことは行わない
  - ・ タオルの共用はしない
  - ・ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。また、トング等で大皿での取り分けや回し飲みはしない
  - ・ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない

#### (12)練習時における留意事項

- ① 一度に練習する人数を制限する
  - ・ グループ分け、練習時間の短縮、時差開催、練習場所を分散して行うなど工夫する
- ② 練習前後にうがい・手洗いをを行う
- ③ 検温と活動記録を書くこと

以上